

## 「専用ビームライン 中間評価」について

公益財団法人高輝度光科学研究センター  
利用業務部

SPring-8の専用ビームライン(以下専用BLと記します)は、独)理化学研究所以外の設置者が、その利用目的に添った計画を立案し、登録施設利用促進機関であるJASRIに設置した専用施設審査委員会およびSPring-8選定委員会において「放射光専用施設の設置計画の選定に関する基本的考え方」に基づき検討評価され、選定されます。

現在、SPring-8には国内外、産学官を問わず18本の専用BLが稼働中で、1本が建設中です。設置が認められた専用BLは、その設置期間の中間期に専用施設審査委員会等において、その使用状況および研究成果等の中間評価(継続、改善、中止等)が行われます。

この度、独)物質・材料研究機構が設置している広エネルギー帯域先端材料解析ビームライン(BL15XU)と兵庫県が設置している兵庫県IDビームライン(BL24XU)については初期設置から10年以上経過し、現在、次期計画を実行中です。その中間期にあたる平成24年10月に専用施設審査委員会による、中間評価が行われました。その評価結果は平成25年2月に開催されたSPring-8選定委員会で審議され、引き続きビームラインの運用を「**継続**」する旨の結果を得ましたので、財団より、各設置者へ通知いたしました。